



本村幼稚園 2月の園だより



平成29年1月31日

港区立本村幼稚園長 黒田 泰正

節分・立春・そして生活発表会

園長 黒田 泰正

早いもので、1月が過ぎ、もう2月となりました。3学期に入って幼児たちは、随所で成長を実感できる行動が見られます。

3学期は、1月10日(火)の始業式から始まりました。新年初日にほとんどの幼児たちを迎え入れることができ、喜びでいっぱいでした。そして、同じ日、1月10日(火)は「昔ながらの遊びの会」がありました。コマ回しやお手玉、あやとりなどを教わりたくさん遊びました。また、1月17日(火)には、1月の誕生会とともに、鏡開きも見せました。何とかうまく割れてほしいと、小槌で3回も叩いて見せました。そして、お餅を食べると力が出ることや、おもち入りのそばを「力そば」ということの話をしました。楽しい新年のスタートができたと思います。

また、1月26日(木)には、港区教育委員会主催の観劇会があり、高輪区民センターに人形劇「うかれバイオリン」「霧と風からきいた話」を見にいきました。場内では話を静かに聞き、5分前のベルがなるときには、落ち着いた状態で全員着席していました。面白いところではよく笑い、少し怖いところでは、ドキドキしながら友達によりそって、真剣に見ていました。話によく集中していました。帰るときには、会場でお世話になった方々へ「ありがとうございました。」とよいあいさつができました。

もう一つの話ですが、1月9日に、子どもたちがかわいがり、大切に育ててきたシフォンちゃん(うさぎ)がなくなりました。始業式のとき、子どもたちに伝えました。「天国で安らかに。ありがとうございました。」という心をもつことを話しました。皆でお花や、お手紙を入れました。悲しい新年の始まりにもなりました。シフォンちゃんのなきがらの顔をみんなで囲んで見ました。安らかな顔をしていました。「生命あるものが死を迎えること」・・・このことを、子どもたちに教えてくれたシフォンちゃん。悲しさや辛さをしっかり受け止めて、乗り越えていくことができる人になってほしいと願います。今でも時々、シフォンちゃんのことを思い出し、話をしている子どもたちです。

さて、2月3日は節分です。それに伴いまして、2月1日(水)には幼稚園でも豆まきをして、子どもたちの健やかな成長を願います。そして翌日、2月4日は立春。暦の上では春になります。寒い日がまだまだ続きますが、砂場の横のある梅のつぼみが赤く膨らんでいます。確実に春が目の前に来ていることが感じられます。そして、なにより、幼児たちの成長から「はと組」は小学校1年生に近いこと、「りす組」は年長「はと組」になる日が近いことを感じます。そして、今年度の集大成、2月4日(土)には生活発表会があります。生活発表会に向けて、子どもたちは一緒に劇をする楽しさ、劇や合奏で協力して進めていくことの大切さを体験しています。1年間のまとめの時期に、これらの体験を通して、「りす組」も「はと組」も素晴らしい春を迎えてほしいと思います。

2月21日(火)にはお別れ遠足で、「サンリオピューランド」に行ってきます。卒園を前にして、少し寂しさもありますが、いっしょに楽しんできたいと思います。



<昔ながらの遊びで地域の方といっぱい遊びました>